



営農NEWS



イチゴのハウス被覆前に、うどんこ病、炭疽病、疫病、ハダニ類などの病虫害防除を徹底しましょう

イチゴ栽培では、本圃の保温を開始する被覆の時期となりました。今年は梅雨明けが 7 月下旬とほぼ平年並みでしたが、梅雨中は雨や曇りの日が多くて気温も低く、とりわけ日照時間が極端に少ない傾向で経過しました。梅雨明け後は逆に極端に高温の日が 8 月中旬まで続き、その後は一転して雷雨や台風の影響で痛められた株もあり、今後の栽培管理には更に注意が必要と思われます。

例年、ハウス被覆を始める前は、病虫害の防除を徹底する時期で、病虫害の発生を見逃して被覆を開始すると、その後の栽培期間中を通して、被害に悩まされる恐れがでてきます。

病虫害発生予報 10 月号（県病虫害防除所）によりますと、9 月下旬現在、うどんこ病や炭疽病の発生は平年並、ハダニ類の発生は平年並～やや多い状況で、10 月もこのまま推移すると予想しています。

うどんこ病やハダニ類は、近年、多発生傾向にあり、今後も発生には十分な注意が必要になりますし、突発的に炭疽病や疫病などが発生する恐れもありますので、この時期における病虫害の防除徹底に努めてください。

＜防除のポイント＞

- 1) 初発生を見逃さないよう、葉裏や葉柄、果梗、果蕾および株元などを丁寧に観察し、初発生を認めたら早期に防除を実施します。この場合、葉裏や下葉、株元等にも薬液がよくかかるよう丁寧に散布することが特に重要です。
- 2) 既に多発生した株または罹病葉や葉柄、果梗、果実を出来るだけ除去してから薬剤散布を行ってください。
- 3) 薬剤耐性菌や抵抗性害虫の発生を抑制するため、ローテーション防除を行いましょう。

表 1 イチゴうどんこ病の主な防除薬剤 (令和元年 9 月 30 日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
トリフミン水和剤	3,000~5,000 倍	収穫前日まで / 5 回以内	1 日	3
アフェットフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	1 日	7
イオウフロアブル	2,000 倍	- / -	1 日	M2
パンチョ T F 顆粒水和剤	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	○	3 と U6
モレスタン水和剤	3,000~4,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	3 日	M10

※その他、被覆後には硫黄粒剤のくん煙処理が可能です。その際は専用の電機加熱式くん煙器を利用してください。

表 2 イチゴ炭疽病の本圃における主な防除薬剤 (令和元年 9 月 30 日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
ゲッター水和剤	1,000 倍	収穫開始 21 日前まで / 3 回以内	○	1 と 10
セイビアーフロアブル 20	1,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	○	12
ベルコートフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 5 回以内	○	M7
オーソサイド水和剤 80	800 倍	収穫 30 日前まで / 3 回以内	1 日	M4

表 3 イチゴ疫病の本圃における主な防除薬剤 (令和元年 9 月 30 日現在)

薬剤名	希釈倍率および使用法	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
ランマンフロアブル	500~1,000 倍液を 100ml / 株で株元灌注	収穫 30 日前まで / 2 回以内	○	21
レーバフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	40

表 4 イチゴ ハダニ類の主な防除薬剤 (令和元年 9 月 30 日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
アフーム乳剤	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	2 日	6
カネマイトフロアブル	1,000~1,500 倍	収穫前日まで / 1 回	○	20B
スターマイトフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	25A
マイトコーネフロアブル	1,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	20D
コテツフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	10 日	13

注 1) 各表のミツバチ※は、ミツバチへの影響の目安を茨城県病虫害防除指針（平成 31 年版）より抜粋しました。○は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載しましたが、天候、施設内の環境条件により日数が前後することがあり、注意が必要です。

注 2) 分類欄には、FRAC または IRAC コードを記載しました（コードが 2 つは混合剤）。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

農業使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA 全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040